

地方自治法施行 60 周年記念貨幣(福島県)の表面図柄の説明

①千円銀貨幣(表面)(1.5倍/原寸)

ぼんだいさん いなわしろこ
『野口英世と磐梯山と猪苗代湖』



○野口英世と磐梯山と猪苗代湖をデザインしています。

※野口英世

福島県出身の細菌学者。ロックフェラー医学研究所にて細菌学の研究に従事し、黄熱病や梅毒等の研究で知られる。黄熱病の研究中に自身も罹患し、ガーナ共和国のアクラで 51 歳で死去。

※磐梯山

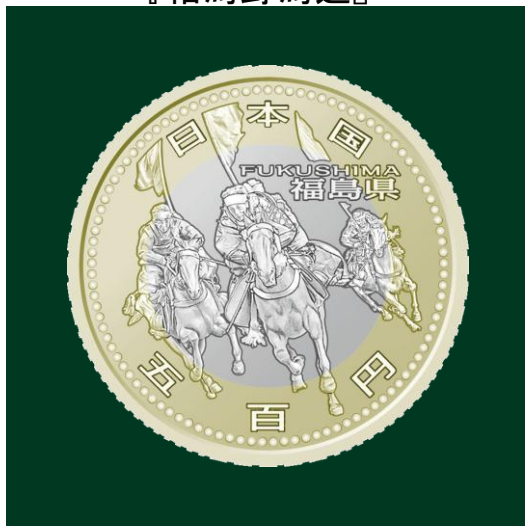
福島県耶麻郡の猪苗代町、磐梯町及び北塩原村の 3 町村にまたがる日本百名山のひとつで、福島県を代表する山。会津富士や会津磐梯山とも呼ばれている。

※猪苗代湖

福島県の会津若松市、郡山市及び耶麻郡猪苗代町にまたがる日本で 4 番目に広い湖で、福島県のほぼ中央に位置する県を代表する湖。平成 14 年度から平成 17 年度まで、4 年連続で湖沼の中で水質日本一になったこともある。

②五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2倍/原寸)

そうまのまおい
『相馬野馬追』



○相馬野馬追から甲冑競馬の様子をデザインしています。

※相馬野馬追

福島県相馬市、南相馬市(旧小高町を含む)において、甲冑に身を固めた 500 余騎の騎馬武者が腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走する豪華絢爛で勇壮な戦国絵巻を繰り広げる、福島県を代表する祭りの一つである。

※甲冑競馬

兜を脱いで、白鉢巻きをしめた甲冑姿の若武者の騎馬が 10 頭立てで一週 1,000m の速さを競う。